

青梅市の公の施設指定管理者評価シート			令和5 年度実施分	
施設名	青梅市図書館(中央1館・分館9館)			
指定管理者名	TRC・オーエンス青梅グループ			
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	担当課	社会教育課	
設置目的	市民の教育と文化の向上を図るため。			

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価内容	評価方法	指定管理者 評価	評価理由	市評価	評価理由
管理 状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	・協定書 ・年度協定書 ・職員配置表 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・業務の履行(清掃・点検等)に関しては、提携事業者と協力し、滞りなく実行した。 ・人員配置は中央・分館共協定書に沿う配置を行った。 ・業務に支障が及ぶ障害はなく、協定や事業計画通りに実施した。	A	施設については、日常・定期清掃により清潔な状態に保ち、空調調節により室内温度を快適に保っている。人員配置は、協定等により定められた方法で予定と結果が報告され、司書率も協定等のとおりになっている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	・職員配置表 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・期限が決められた提出資料は期限内に提出・報告を行った。	A	定められた期間での報告および連絡がされている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	・協定書 ・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・ヒアリング	A	・管理区域内の安全性は常に確保するよう努めている。	A	管理区域内の通路等の整理がされており安全が確保がされている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	・ヒアリング	A	・個人情報保護に関しては、個人情報の掲載された書類の管理は徹底している。 ・市への報告も適切に行っている。	A	個人情報のある書類や情報を厳重に管理し、職員研修を実施するなど個人情報保護対策が徹底されている。委員会への報告も適切になされている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	・ヒアリング	A	・業務日報や各種の業務実施報告書は年度別に作成、保管している。	A	日報や業務に関わる記録は、施錠できるキャビネット内に整理し保管している。鍵の管理もしっかりしている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	・危機管理マニュアル	A	・危機管理マニュアル(2022年版＝)最新版に則り、運営体制を整えている。	A	緊急時の体制を確立し、対応マニュアルを整備するとともに、マニュアルはすぐに見られるように配置してい
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	・危機管理マニュアル ・連絡調整会議資料	A	・年に2回以上の消防訓練を行い、消防署と連携し救急救命講習も行った。災害を想定した緊急連絡のための通報訓練も行っている。	A	防災訓練(年2回)を実施していることを確認した。
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	・連絡調整会議資料 ・事業報告書 ・ヒアリング	A	・備品等は適切に管理し、器具等の破損、紛失は発生していない。	A	備品等の破損は見られない。連絡調整会議等で、必要な報告がなされている。また、軽微な修繕に対し仕様書のとおりに対応している。
事業 効果 等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・事業計画書通りの運用、事業の開催ができた。	S	事業計画に沿って、事業の運用、開催を実施している。 また、中央図書館年末開館試行(1日間)を実施し、利用者から好評を得た。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・外部要因による規模縮小等もなく、事業計画通りの運用ができた。	A	事業計画どおり実施している。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	・利用者アンケート	A	・中央、分館9館の全ての館で年に一度利用者アンケートを実施している。常設のアンケート(自由意見)については随時受け、いずれも公表している。	A	中央1/13～1/14、分館1/17～1/22に利用者アンケートを実施し、結果を公表している。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	・利用者アンケート	A	・利用者アンケートの結果からは、9割以上の満足度を示している。	A	利用者アンケートの「総合的な満足度」(満足およびやや満足の合計)が、中央94%、分館94～100%であった。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	・連絡調整会議資料	A	・利用者アンケートや、常設アンケートでの意見には適宜対応している。	A	利用者アンケートや常設の投書等の意見を活かし改善している。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	・連絡調整会議資料	A	・市から依頼があった展示についてはその都度対応し、市の関連施設と連携した展示や行事も行った。	A	市立図書館の設置目的に沿った運営を行っている。また、図書館以外の市の事業に協力するとともに、共催事業を企画し実施している。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	・連絡調整会議資料	A	・提案事業については、計画通りに実施できた。	A	提案事業である「託児サービス」や市役所に増設した「ブックポスト」の運用を適切に行っている。
	会計	処理	・ヒアリング	A	・管理業務の会計に関する帳簿や書類の整備、保存は施錠できるキャビネットで管理している。	A	管理業務の会計に関わる書類は、施錠できるキャビネット内に整理し保存している。
		管理	・ヒアリング	A	現金や施設の鍵等の貴重品に関しては、鍵のかかる金庫やキャビネットで適切に管理している。	A	現金等については施錠できるキャビネット内に整理し保存している。カギについても、金庫内に保存し、安全性を高めた管理をしている。
収 支 状 況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	・収支報告(青梅市図書館の事業報告)	A	赤字経営とはなっていない。	A	赤字ではないこと確認した。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	・第45期事業報告(図書館流通センター)	A	経常利益率はプラスで、赤字決算とはなっていない。	A	経常利益率はプラスになっていることを財務諸表から確認した。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	・第45期事業報告(図書館流通センター)	A	自己資本率は30%以上となっている。	A	自己資本比率が30%以上であることを財務諸表から確認した。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上になっており、事業継続の安全性に不安がない。	・第45期事業報告(図書館流通センター)	A	流動比率は100%以上となっている。	A	流動比率が100%以上であることを財務諸表から確認した。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄
S	0	・新型コロナによる規制は、令和5年5月8日に撤廃されたことから、図書館の運営は実施する行事や館内利用に関しても規制は一切なくなった。 ・中央と分館全ての図書館の年間の利用実績を見ると、登録者数は全体で4.5%増加。8か月連続で児童を除き登録者数は増加を継続した。貸出者数は全体では1.5%の減少。貸出冊数は、全体では3.1%の減少推移した。団体貸出は全体で0.4%の増加で、年度末にプラスに逆転した。このうち児童が3.2%減少。協力貸出については全項目で減少、全体では5.4%の減少だった。 ・行事については、市内の吉川英治記念館との連携行事を図書館で初めて実施した。例年、この時期に「JAZZ講座」を開いていたが、講師都合で中止せざるを得ず、代替行事として開催した。同館も指定管理者（フクシ・エンタープライズ）が運営しており、2年ほど前からは春と秋の読書週間には図書館スタッフが同って読書案内やミニおはなし会を実施する機会をもらっていた。その縁もあり、逆に図書館に招いて吉川英治に関する種々のお話を提案、ご了承いただいたので、総括責任者とスタッフ1名に実施いただいた。他の行事も会場の定員いっぱいの参加者が戻ってきている。
A	21	
B	0	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄
S	1	連絡調整会議を毎月実施できた。また、日頃からコミュニケーションがとれ、日常の意思疎通および情報共有ができています。 人材育成に努め、職員の研修や教育（新人研修、レファレンス研修、学校司書研修等）を行い、能力向上に努めている。 提出文書等について、期限内に提出できている。なお、その内容については更に正確性を求めたい。 図書館資料の選書や廃棄について選書会議を必ず実施し、資料収集基準等にもとづき管理している。 開催事業についても、内容等において柔軟に対応し、図書館事業として滞りなく開催できている。 また、市からの提案である中央図書館年末開館試行実施について柔軟に対応し、5年度も開館でき、好評を得ている。
A	20	
B	0	
C	0	